



2007年度、YFNメッセージ

イエス・キリストのDNA

「遺伝子の中にある」

CFNI聖書学院学院長
アダム&ジェミー・
マッケイン師

●子どもに受け継がれる親の遺伝子

私には現在子どもが二人います。娘と息子、そして今年10月には3人目が生まれる予定です。子どもに関して驚くべきことは、その父母の遺伝子を受け継いでいるということです。私の子どもはその行動も私に似ています。私の好きなものは彼らも好きで、私の嫌いなものは嫌いです。それは遺伝子のせいです。私のDNAと妻のDNAが彼らの中にあるからです。ですから、彼らは私たちになるしかないのです。それが彼らの「遺伝子の中にある」のです。

●イエス様の計画

「世界に影響力を与えるなら若い人に影響を与えなさい。」これはアドルフ・ヒットラーの言葉です。彼は、「超人類」を作ろうとして、最も美しく、強く、背が高く、頭の良い男性と女性を強制的に交わせ子どもを造らせ、「スーパーな子ども」をもって「スーパーな人類」「特別な民族」をつくらうとしました。それゆえ、自国の弱い人々、例えばハンディキャップのある人や精神的に問題のある人、又、彼が下等な民族だと思っていたユダヤ人も殺しました。イエス様もこの地上に来られ、スーパーな人類をつくらうとしました。すなわち、ご自分の息子、娘をです。イエス様は、わたしの息子、娘となる者たちは、わたしがしたことを彼らもすることができると言われました。(ヨハネ14:12) イエス様が弟子達とともに集まって教えておられるところへ母マリヤがイエス様の兄弟たちを連れて来た時、人がたくさんいて中に入れませんでした。(マタイ12:46) ある人がマリヤ達に気づき、その人垣をかき分けて、イエス様に母マリヤと兄弟たちが来ていることを伝えましたが、そこでイエス様が言われました。「彼ら(弟子たち)が私の兄弟です。これが私の家族です。私の教えに従う者たちです。」これは少し奇妙だと思いませんか。イエス様はマリヤが来たのを見て、「やあ、お母さん!」とは言いませんでした。なぜなら、イエス様はそのために地上に来られたのではないからです。クリスチャンという新しい民族、新しい人類を始めるために来られたからです。イエス様に従い、イエス様のようになる人、イエス様の遺伝子を持ち、イエス様のように行動し、語る人、周囲の人から、「あなたイエス様とそっくりですね。」と言われる人をつくるためにイエス様は来られました。

●キリストのうちにある者

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じるものは、わたしの行なうわざを行い、またそれよりもさらに大きな業を行ないます。わたしが父のもとに行くからです。」(ヨハネ14:12)「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、すべてが新しくなりました。」(第二コリント5:17) 私たちはよく「救われる」と言いますが、イエス様は「新しく造られる」と言われました。クリスチャンになるということは、

かつての自分が死んで、新しい人になるということです。それがイエス様のご計画です。ただ生活が改善されるとか、静かに祈ってよりよい人間になろうということではありません。私たちは死に、新しく生まれ、イエス様の姿になり、イエス様のように生きることです。キリスト信仰とは、ユダヤ人でもなくギリシャ人でもなく、アメリカ人でも日本人でもありません。みな、キリストにあって一つ、イエス様の民族の一員になったのです。

●子どもに教える親

私は子ども達に「われわれはマッケインだ。決してあきらめない」ということを教えます。私の娘が6才になって自転車の練習を始めました。周りの子はすでに補助輪なしで自転車に乗っていましたから、「ほら、あの子はもう補助輪無しで自転車に乗っているよ」と娘に言いました。娘は「でも、私は自転車の乗り方知らないもん」と言います。「そうか、じゃあ、お父さんが教えてあげよう」「習いたくない」「いや、習うんだ」そしてこの言葉を教えました。「われわれは何者だ。われわれはマッケインだ。決してあきらめない」もう一度言いました。「われわれは何者だ。われわれはマッケインだ。決してあきらめない」そして娘も繰り返しました。そこで、私たちは補助輪を外し、娘にはひざ当てやひじ当てをつけ、スキージャケットを着せました。娘が怖がっていたので、私はまた言いました。「われわれは何者だ」娘は泣きながら「われわれはマッケイ〜ン。決してあきらめな〜い」「そうだ、われわれはあきらめないぞ!」それを何度も繰り返しますが娘は上達しません。そこでもう一度「娘よ、われわれは何者だ」「マッケイ〜ン」「それで?」「決してあきらめな〜い」「そうだ、じゃ、もう一度自転車に乗るぞ」すると娘が「もうマッケインをやめたいよ」と言うのですが、私は「さあ、立ち上がって!われわれはマッケインなんだから!」と繰り返します。そのまま3時間が過ぎ、翌日も翌々日も練習しました。そしてついに5日目、娘は少し乗れるようになりました。娘は喜んで「われわれはマッケイン! 決してあきらめない!」と歌っていました。彼女は私の娘で、教えないといけないこともあります、いろんな意味で私に似ています。

●親の性質を受け継ぐ

アメリカのあるトーク番組で、二人の兄弟にインタビューをしていました。彼らが生まれた時、母親は子どもが欲しくなかったので、養子に出しました。その子ども達はそれぞれ別々の家庭に引き取られ、本当の父親、母親を知らずに、又、お互いを知らずに育ちました。そして30歳になってから自分が養子であることを知り、兄弟がいることを知って、お互いを探し始めました。なんと30代になって兄弟と出会いました。不思議なことに、二人ともエンジニアになっており、顔が似ている女性とそれぞれ結婚していました。そして自分たちの本当の父親を探し始めて知ったことは、そのお父さんもエンジニアでした。お父さんには一度も会ったこともな